

氏 名 よね やま きょう こ
米 山 京 子



所 属 ・ 職 名 生活科学教育講座（保育）・教授

研究室電話番号 0742-27-9248
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス yoneyamk@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 東京大学医学部保健学科（1965）・医学博士

所 属 学 会 等 日本衛生学会，日本公衆衛生学会，日本小児保健学会，母性衛生学会，
国際家政学会

専 門 分 野 育児学，母子健康科学

研究と教育について

研究のテーマ

- 1．妊娠，授乳期の母子間のカルシウム栄養の動態を骨代謝を含めて検討し，母体の保護，胎児や乳児の発育に最適な栄養摂取，授乳方法，授乳期間を検討する。
- 2．母乳栄養児の乳幼児期の発育現象および健康との関係を疫学的手法により解析し，母乳栄養児の特性を発見する。
- 3．子どもの健康と生活習慣との関係を分析し，健康的な生活スタイルを検証する。

教育のテーマ

- 1．乳幼児について身体的発育や生理，栄養また社会性や情緒など心身両面から理解を深め，関心を持たせることであるが，単に知識としてではなく巧妙なしくみに感動を与えることを最大の目標としている。幼少期の発育・発達を支えるためにはどのような関わりが適切かを，理論や保育園での実習を通して考えさせる。
- 2．国際的な視野で生殖期の婦人・乳幼児の健康の現状，および我が国における状況を理解させ，命を大切に，健康な次世代を育むための小・中学校・高校での性教育をいかにすすめるべきか考えさせる。

主 な 研 究 業 績

- ・長期授乳婦の骨密度に及ぼすカルシウム摂取量増大の効果および長期授乳後の骨密度の回復，日本公衆衛生雑誌，2004，51(12)，1008-1017
- ・妊娠中および授乳期の栄養状況が母乳成分へ及ぼす影響，小児保健研究，2003，62(3)，331-340
- ・妊娠中の母体の骨密度および骨密度と胎児発育との関係，日本公衆衛生雑誌，2000，47(8)，661-669
- ・母乳中カルシウム濃度と授乳婦の乳，乳製品摂取，骨吸収および骨密度との相互関係，日本衛生学雑誌，1997，51(4)，770-779
- ・Growth of Japanese breast-fed and bottle-fed infants from birth to 20 months. Annals of Human Biology，1994，21(6)，597-608

主な授業担当科目

育児学(教員養成課程)，保育学(教員養成課程)，母と子の健康科学(教養科目)，家庭看護学(教員養成課程)，生活統計学演習(教員養成課程)

学 会 活 動 日本衛生学会評議員

社 会 的 活 動 高校生等保育・介護体験総合推進事業地域連絡会（文科省）における講師
日本ラクテーションコンサルタント協会（LALC）の研究会の講師
小中高等学校家庭科現職教員の再教育

講 演 の テ ー マ 「子供の食生活と健康」，「骨密度を高めるには--母と子のヘルスプロモーション」，
「妊娠，授乳期の骨密度に及ぼす乳・乳製品摂取の影響」